

# 技 が輝く



平成十年に群馬県ふるさと伝統工芸品に認定された工芸ガラスです。豊富な色ガラスを使った熟練職人の技は、花器や食器、ランプシェードなど技術性の高い製品を生み出してきました。その卓越した技術から、これまで五人が「現代の名工」に表彰されているほか、日展入選などを果たしています。

製造技法は「宙吹き成形」といわ



れる手作りです。鉄パイプでできた吹きざおの先に、窯の中で溶かした熱くて軟らかい、色鮮やかなガラスを球状に付けます。そして厚さが均一になるよう吹きざおを回しながら息を吹き込み、はさみやコテ板、濡らした新聞紙、ピンセットなどを使って、さまざまな形状に仕上げしていきます。

釜の中のガラスは千三百度から千八百度もの高温です。この温度が八百度以下に下がってしまうと、成形できなくなってしまうため、形

作りは外に出してからの一、二分が勝負。急激に温度が下がりが固まっていくガラスとの競争です。

作品は、これらの

工程で作られた器や台座などを組み合わせさせて作ります。それぞれの温度が異なるガラスが割れてしまいうため、同じ温度で接合できると調整が難しく、製作過程の時間を調整します。そのため、五、六人の職人が連携し、絶妙のタイミングで補助作業をこなさなければなりません。

作品の製作時間は、長くとも十五分程度。型や機械を使わずに、短時間で成形・華飾

するには、高い技術が必要とされ、習得には長い年月が掛かります。その技術は高く評価され、これまでに皇居宮殿のシャンデリア、赤坂・



迎賓館の花弁形のクリスタル、正倉院宝物の復元品などの製作に用いられています。

お問い合わせ

群馬県工業振興課

TEL 〇二七―二二六―三三五八

FAX 〇二七―二二一―三一九一

群馬県

## 上越クリスタル